

生活定点調査 2006 速報

生活者 2.0TM へ 未来支度を始めた人々

博報堂生活総合研究所では、生活者の価値観や行動などを読み取るために「生活定点調査」を行っています。この調査は、1986年より隔年で、同じ条件の調査エリア・調査対象者に、同じ質問を聞き続ける時系列調査です。当研究所では、この調査の過去10年分のデータを載せたCD-ROM「生活定点2006」と詳細な分析結果を11月に発行・発表いたします。これに先立ち、今年5月に行った最新の生活定点調査2006の速報値をまとめましたのでご報告いたします。

[要旨]

生活者は、景気の回復を踏まえ、明るい感情を持ちつつも、この先も続く日本の変化に「継続する不安と安定化願望」を抱いていました。そして、今後も続く改革の波や社会の変化に対応するため、将来に備えた『3つの地固め』（日本再認 男女共闘 勤労欲求）と『3つの再設計』（情報達人 消費眼力 先攻投資）を行っていることが分かりました。

そして、これら一連の将来を見据えて備える態度を【未来支度を始めた人々】と捉え、自らの力で、自発的かつ能動的に動いていく生活者を【生活者2.0】と定義しました。

[速報結果]

継続する不安と安定化願望

景気が回復する中、「身の回りに喜ばしいことや楽しいことが多い」といった明るい感情が回復傾向にあります。しかし、「今後の経済余裕度は苦しくなる」と、生活者が抱く将来見通しは不鮮明です。これは、今後も続くであろう改革の波や社会の変化に「今の世の中は変化が多すぎる」と感じ、それに備える姿勢の現れといえます。そのため「安定した暮らしの願望」が上昇し続けています。生活者は、安定した暮らしの確保と、この先も続く日本の変化に対応するため、将来の生活に備えた『3つの地固め』と『3つの再設計』を始めました。

3つの地固め

生活者は、今という時代と将来を見据えて、3つの生活の足場・土台を固めています。

日本再認

失われた10年と構造改革の荒波をくぐり抜けてきた経験から、「習慣やしきたりに従う」「年功序列」という日本の良いところを見直し、「地域の出来事」に関心を持つなど、そもそも日本人が持ってい

た知恵やシステムを、これからの暮らしに生かすために選別する、『日本再発見』を行いました。

男女共闘

教育、法律・制度、社会全般で男女の平等化が進展したと答える生活者が増えました。その結果、母親へ傾いていた尊敬率は「父母で拮抗」し、「男性も育児休暇をとるべき」が上昇するなど、男女が共に手を携え、協力して、今後に備え、挑もうとする『男女共闘』の姿勢が浮き上がってきました。

勤労欲求

やはり日本人は「仕事が好き」なのです。そして、コツコツと努力を重ね、真面目に働き続けることで、自らの夢・希望・想いを実現していく志向が伺えます。『堅実な仕事人』に価値がある。ここにも日本の再発見・再評価と生活の仕切り直しが見て取れます。

3つの再設計

生活者は、現在と将来を見据えて生活の土台の上に建つ、3つの領域をリ・デザインしました。

情報達人

目覚しく進展する情報社会。それに伴い生活者の情報装備は、情報機器からサービス利用まで幅広く拡充されています。情報生活における重装備化は、生活者の「情報処理能力を押し上げ」、生活が豊かになったと実感させています。

消費眼力

生活者は、消費の「目利き」へと変化しています。情報装備と情報能力の向上が動力となり、自力の選択・多様なルートでの購入を展開しています。また、「旅や贈答」消費を削減し、代わりに「コンテンツ消費や環境に配慮する消費」といった自分や社会にとって有意義な、賢い消費を伸長させています。生活再編を支える『消費リテラシー』が高まったようです。

先攻投資

不透明な将来に対して備える生活が動き出しました。「子供への投資」と「金融への投資」です。厳しい未来を生き抜かなければならない子供たち。その時代を乗り切るための知恵を装備させるために、積極的な教育投資を行い始めています。子供が少ないからこそできることともいえます。

さらに、こうした子供への投資と同時に、生活者は金融への投資に動き出そうとしている兆しも見えてきました。能力主義・増税・年金問題と先が見通せないからこそ、自己責任意識を持ち、直接金融へと乗り出そうとしているようです。子供の将来、自らの年金・老後問題を含め、安定した暮らしを確保するために『未来への先行投資』が始まったといえます。

継続する不安と安定化願望

3つの地固め…………… 日本再認 男女共闘 勤労欲求

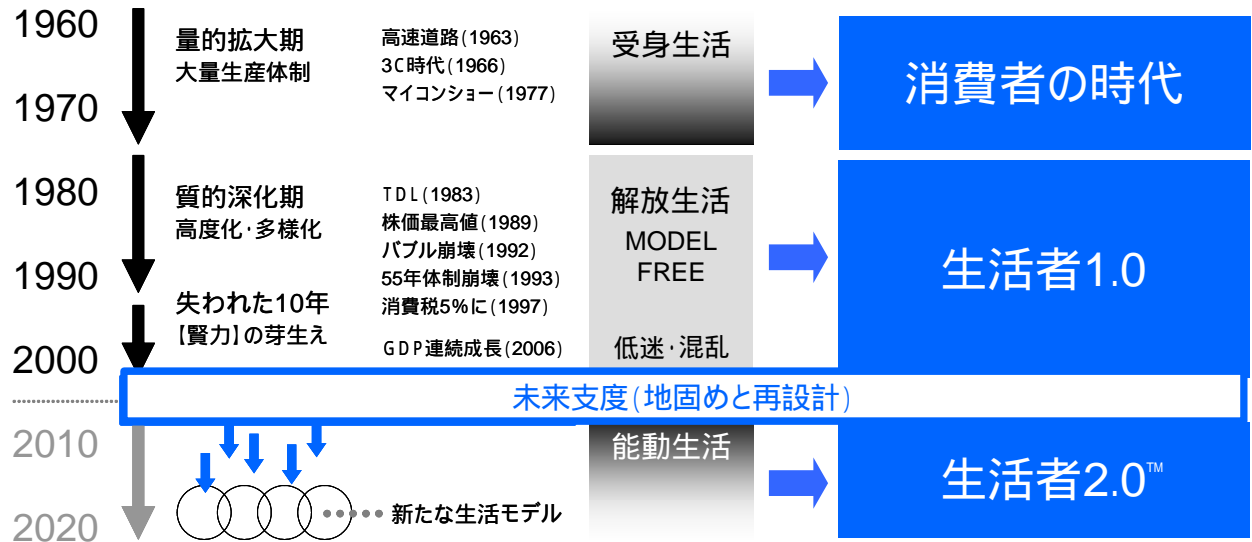
3つの再設計…………… 情報達人 消費眼力 先攻投資



「生活者 2.0™」へ
未来仕度を始めた人々

未来支度を始めた人々～ 「生活者 2.0 へ」

博報堂生活総合研究所では、前回の生活定点 2004 分析を「失われた 10 年で生活者が身につけたのは『賢力』」というご報告をいたしました。そして、生活定点 2006 の結果をみると、『賢力』を身につけた生活者は、よりその力を実行に移すステージへと入ったようです。今、生活者は、将来に備えた「地固め」と「再設計」により『生活者 2.0』になるための『未来支度』を始めているといえます。



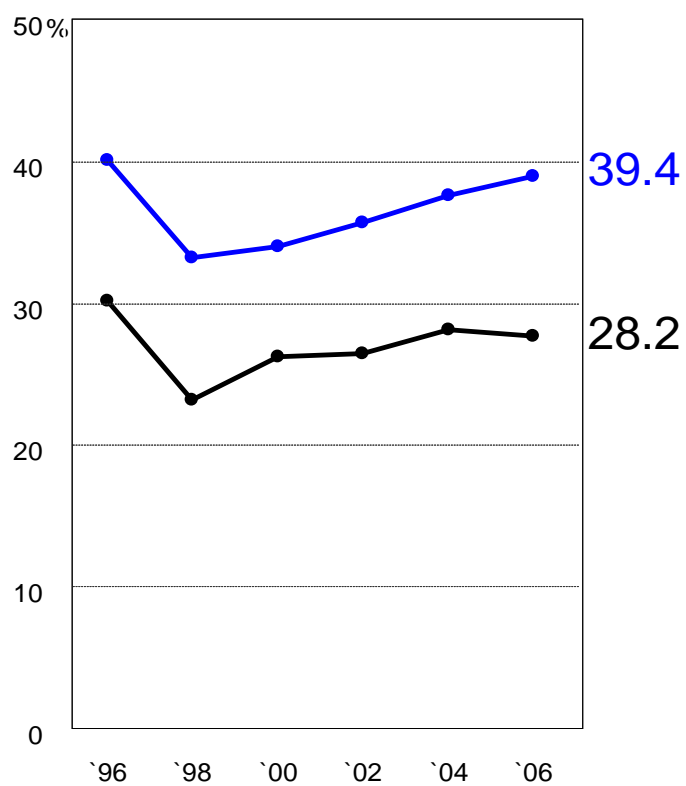
「賢力」は左記 URL を参照 <http://www.seikatsusoken.jp/1982-2005/LAB/TEITEN/index.html>

本件に関するお問い合わせ先

博報堂生活総合研究所 南部・高橋・山本(貴) : 03-3233-6450

継続する不安と安定願望

身の回り感情が回復傾向

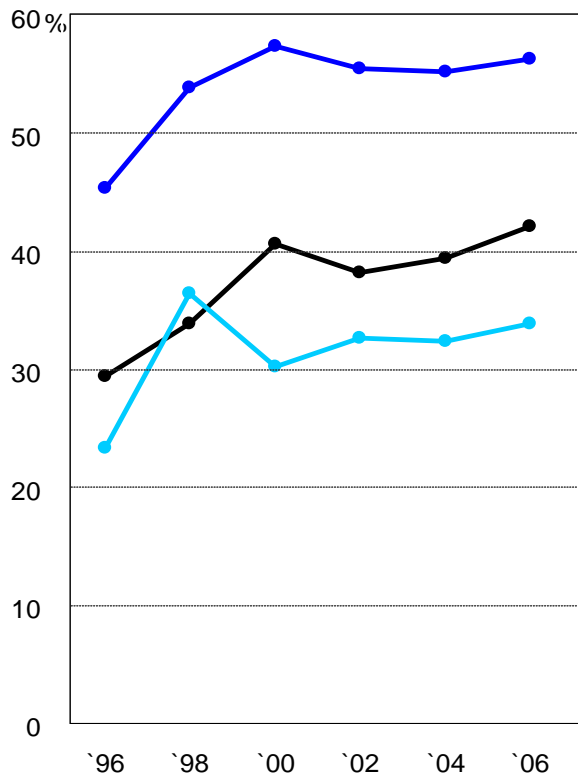


身の回りに対する感情

楽しいことが多い
[小計]

よるこばしいことが多い
[小計]

苦しい将来見通し / 上昇続ける安定願望



56.6

今の世の中は
変化が多すぎると思う

42.5

願望：
安定した暮らし

34.2

今後の経済余裕度：
苦しくなる

[小計]

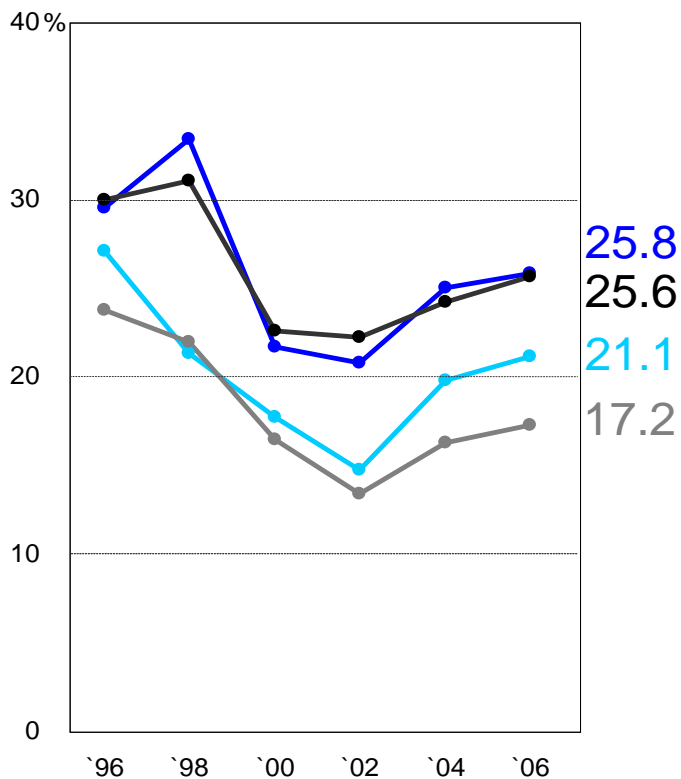
3つの地固め

日本再認

男女共闘

勤労欲求

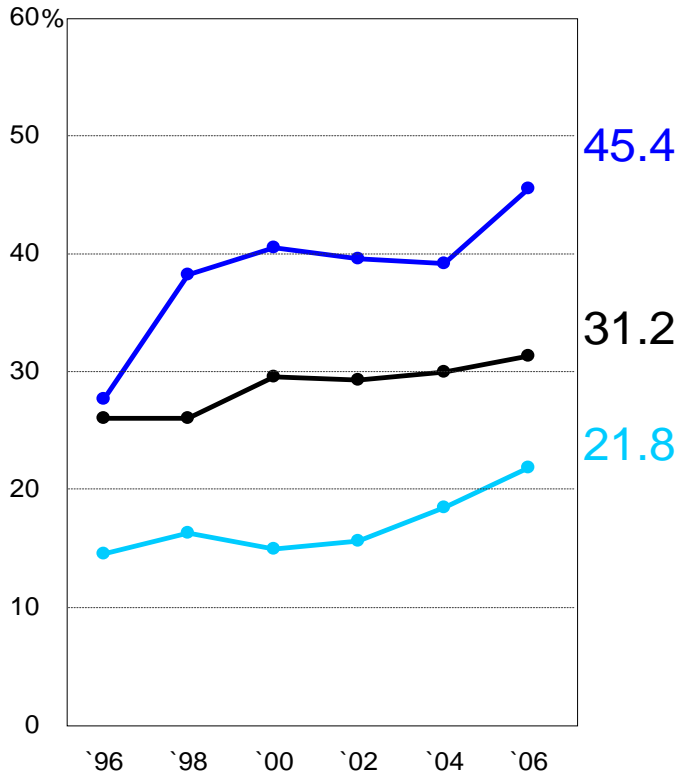
日本再認》回復する自尊心



日本の誇れること

- 高い科学技術の水準
- 国民の義理がたさ
- 経済的繁栄
- 社会の安定

日本再認》温故知新と地元見直し

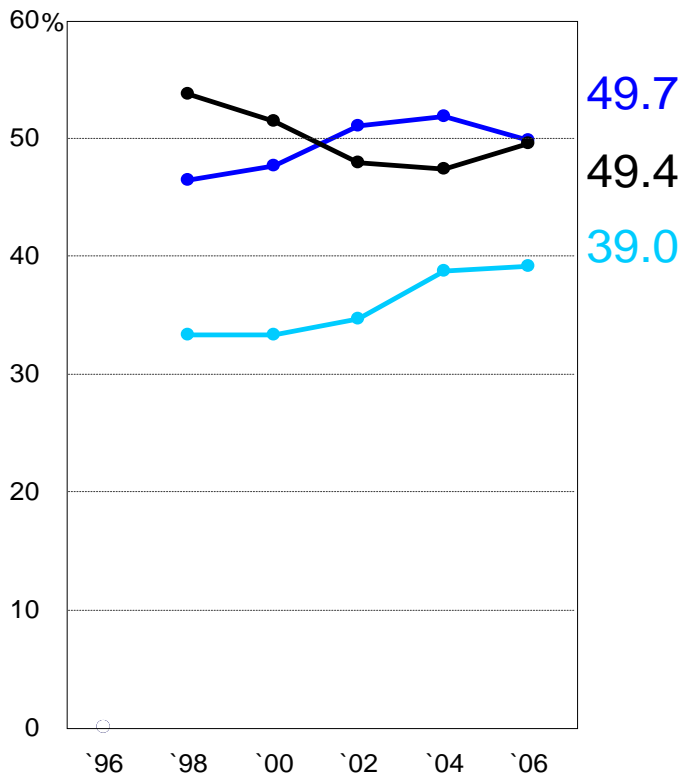


習慣やしきたりに
従うのは当然だと思う

関心のある情報：
地域の出来事

年功序列は
守るべきだと思う

男女共闘》父母同権 / 夫婦で育児

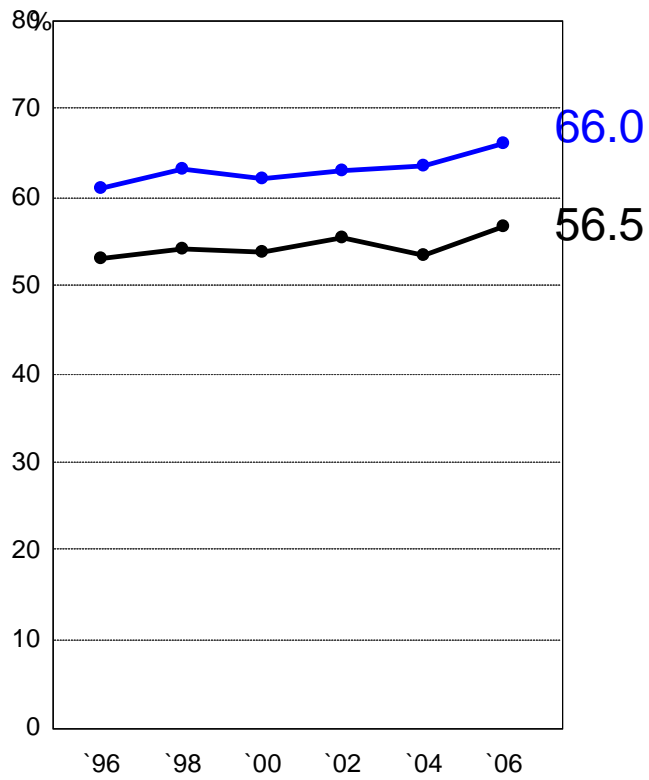


母親を尊敬している

父親を尊敬している

男性でも育児休暇を
とるべきだと思う

勤労欲求》 堅実な仕事人



世の中、運・ツキよりも努力だと思う

基本的に仕事が好きの方である

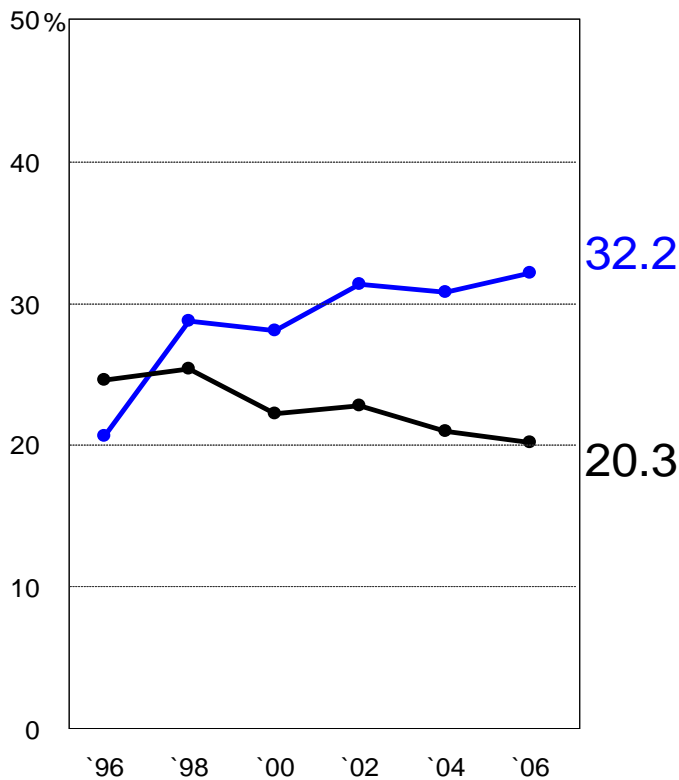
3つの再設計

進化する情報生活

消費リテラシー強化

未来への先行投資

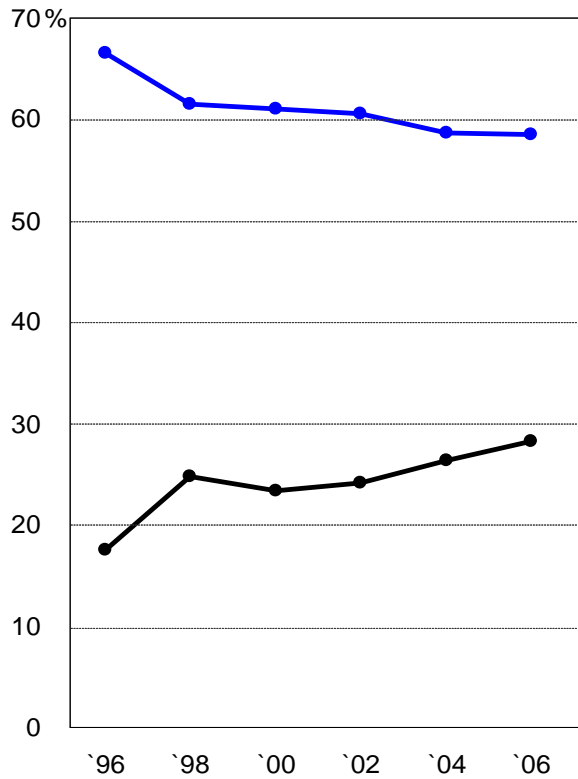
情報達人》向上するリテラシー



情報処理能力は高い方
[小計]

多くの情報がそろって
いるよりも選別された
情報だけあればいい
と思う

消費眼力》生活者は「目利き」な客へ



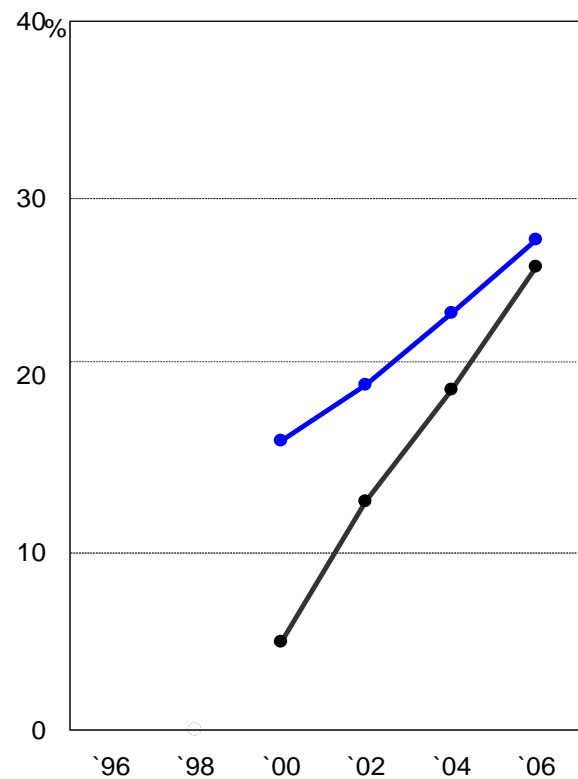
58.5

親切な店員がいることは非常に重要だと思う

28.2

ものを買うときにピンとくる、こないといった感覚で判断する

消費眼力》新購買ルートの開拓目利き向上



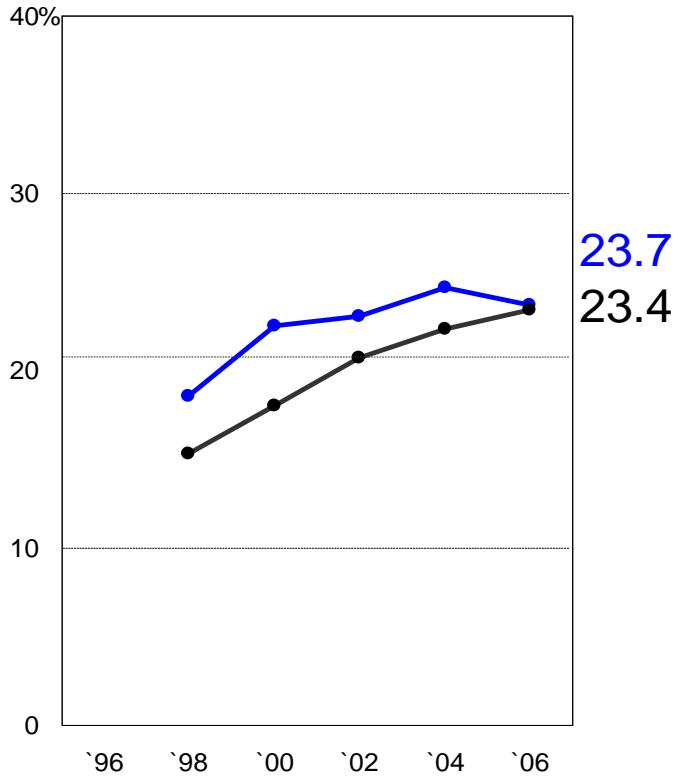
27.7

生活願望（今後）：
オンラインショッピングで買い物する

26.1

生活経験（最近1年）：
オンラインショッピングで買い物をした

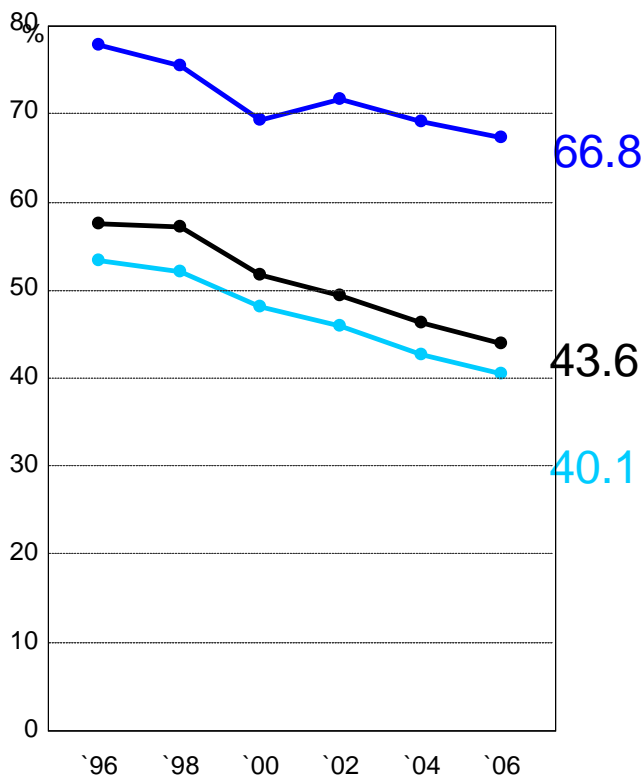
消費眼力》新購買ルートの開拓



生活願望（今後）：
リサイクルショップ、
フリーマーケットなど
で中古品を買う

生活経験（最近1年）：
リサイクルショップ、
フリーマーケットなど
で中古品を買った

消費眼力》凹する旅交支出

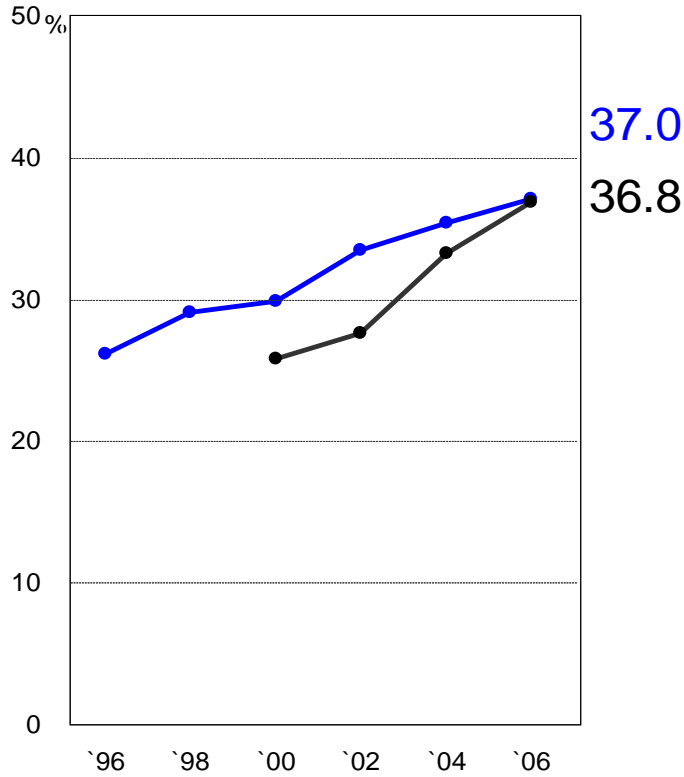


最近1年で、
国内旅行をした

お歳暮は毎年
欠かさず贈っている

お中元は毎年
欠かさず贈っている

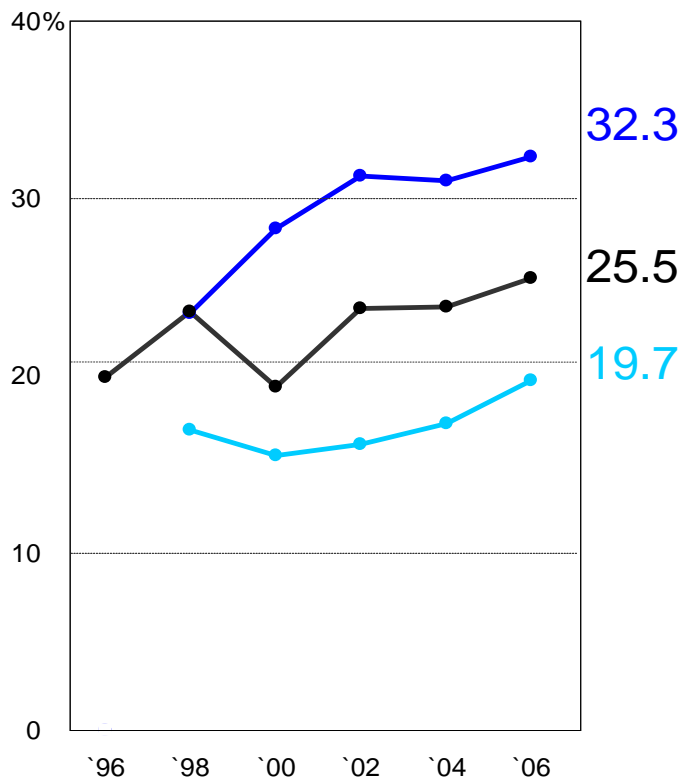
消費眼力》凸する映環支出



よくする趣味：
映画鑑賞

環境問題を意識して
買うときの重視点が
変わったもの：
自動車

先攻投資》積極的な子供投資

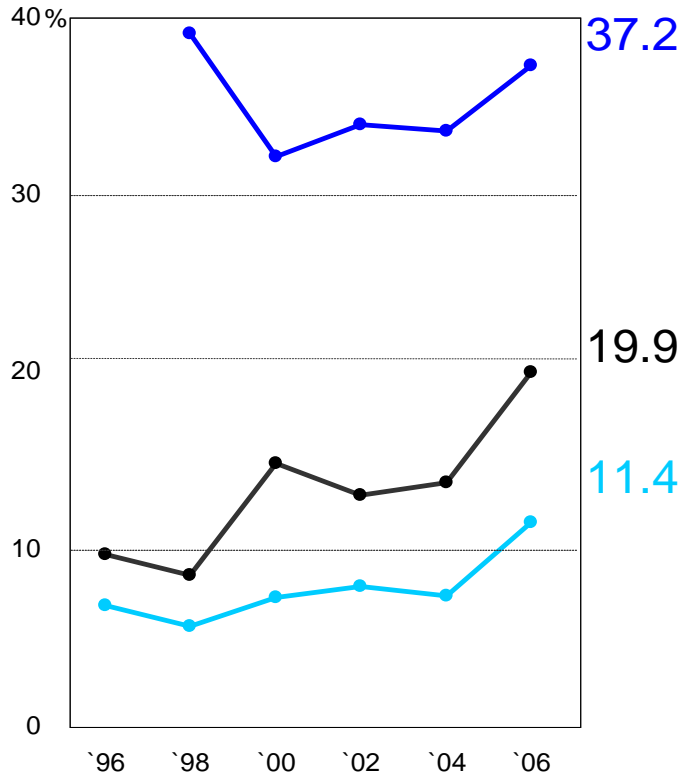


今後も、子供のための
教養・勉強に
お金をかけている

親の生活費を削ってでも
子供の教育には
お金をかける方がよい

現在、子供のための
教養・勉強に
お金をかけたい

先攻投資》金融投資



銀行や保険の
金融商品で損をしても
自分の責任だと思う

生活願望（今後）：
株・債券などの
投資をしたい

生活経験（最近1年）：
株・債券などの
投資をした